

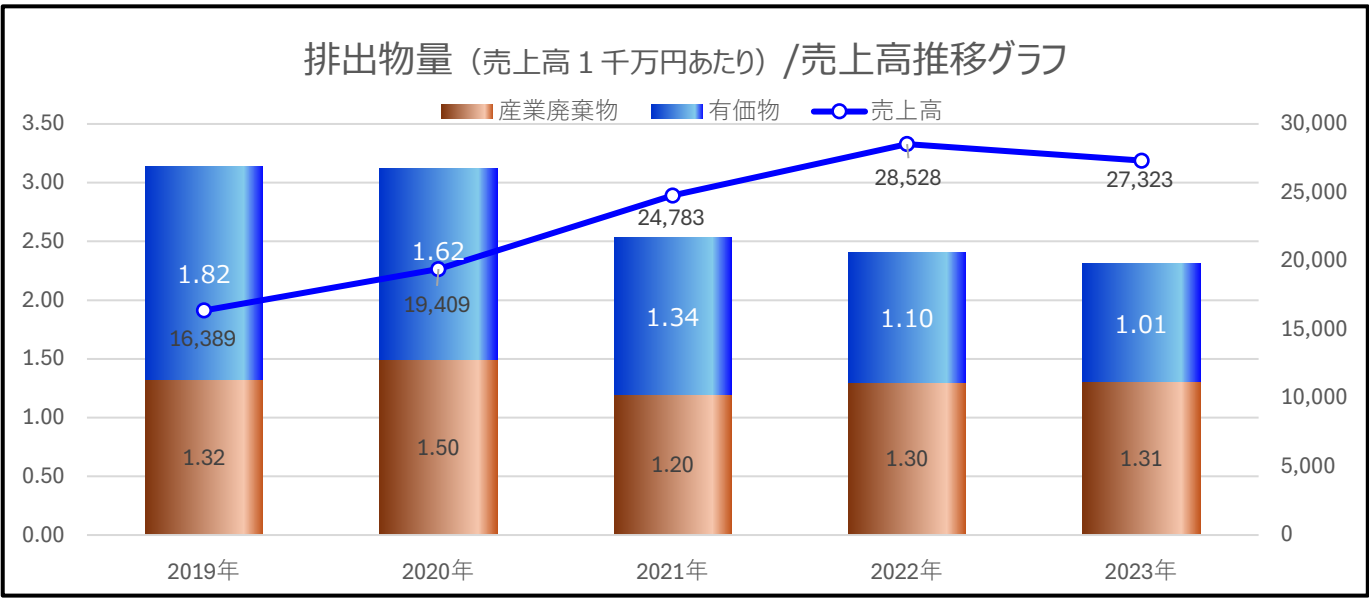
FICTの環境資源の有効活用（循環型社会に向けて）

【廃棄物量】

当社は、環境の基本方針である「サステナブルな社会実現のため、資源の有効活用と、環境負荷低減の取組を推進します。」を実現するため、関連する企業様と連携し廃棄物の3Rに取り組んでおります。

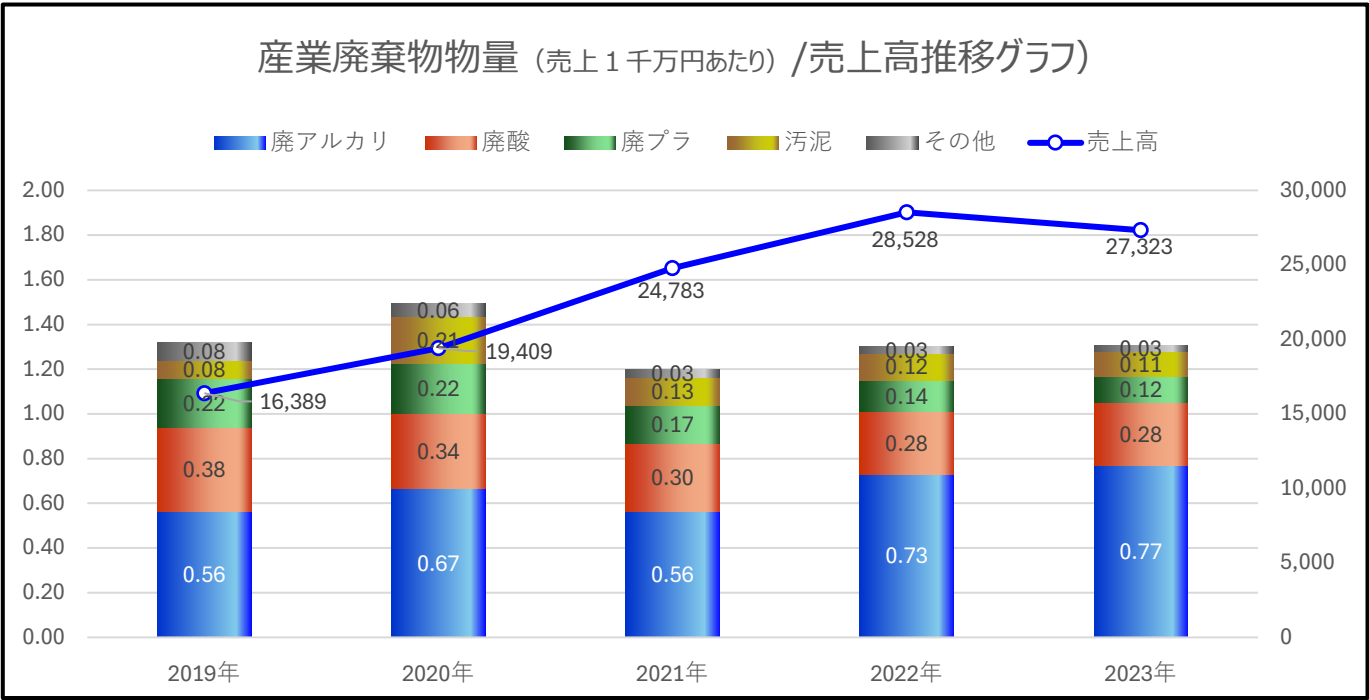
1 排出物量の推移（長野本社＋黒姫事業所）

2023年度の売上高1千万円あたりの排出量は 約2.31t、（2020年度比 74%）
排出物の約43%が有価物であり、リサイクルまたは他の原料などとして有効活用されている。



2 産業廃棄物の内訳（長野本社＋黒姫事業所）

①廃アルカリ：約59%、②廃酸：約22%、③廃プラ：約9%、④汚泥・その他約：10% （2023年度実績）



引き続き、関連企業と連携し、廃プラなどの分別強化と代替品の調査/検討を推進し、さらなる廃棄物の削減に取り組んでまいります。

3 『プラスチックに係る資源循環の促進などに関する法律』への対応

熱などの加工を加えることで様々な形を変え、我々の生活を豊かにしてきたプラスチックですが、使われなくなったプラスチックが放置され、鳥や動物等の生命を脅かし、海洋に流れ着いたごみは徐々に形を変え、マイクロプラスチックごみとなり海産物に蓄積されそれがいずれ我々人間の健康にも影響を与えうるといわれています。

2021年6月に国が『プラスチックに係る資源循環の促進などに関する法律』を制定、当社はこの法律に定める多量排出事業者の義務であるプラスチックごみの削減、利活用（3R）に積極的に取り組んでまいります。

※2030年度排出量（長野本社＋黒姫事業所）は、2020年度比 45%削減とする。

- ・ 品質向上による原材料など使用量の削減
- ・ 梱包など、代替え品や梱包単位見直しによる削減
- ・ 3Rの推進（産廃⇒有価へ）

⇒2023年度実績：約319t（2020年度比 73.5%（26.5%削減））

参考：廃プラ類分別の強化による廃棄物の削減（3R対応）

